

実務研修報告書（様式例）（がん化学療法看護）分野

1. 実務研修施設（認定看護師教育機関受験申請者の経歴を記載する。）

1-1) 全実務研修期間および実務研修施設名（所属施設名、職位）	
(西暦) 1999年4月～2005年3月 (72ヶ月間)	所属施設名：〇〇法人〇〇会〇〇〇〇病院 職位：スタッフナース
2005年4月～2007年9月 (30ヶ月間)	所属施設名： 法人〇〇会〇〇〇〇病院 職位：主任
合計	102ヶ月間
1-2) うち認定看護分野歴（所属施設名、所属部署名、職位）	
2003年4月～2005年3月 (24ヶ月間)	所属施設名：〇〇法人〇〇会〇〇〇〇病院 所属部署名：血液内科・消化器内科混合病棟（※左記のように対象者の具体がわからない場合、対象者の詳細も追記する。例：がん化学療法を受けている患者が50%を占める等） 職位：スタッフナース
2005年4月～2007年9月 (30ヶ月間)	所属施設名：〇〇法人〇〇会〇〇〇〇病院 所属部署名：外来化学療法室 職位：主任
合計	54ヶ月間

2. 認定看護分野歴における実務研修施設 概要

（最低3年間の認定看護分野歴における施設の実績について記載。施設が複数の場合、施設ごとに実績を記載する。）

（がん化学療法看護）分野における実績：施設名（ ）

2-1) 当該分野に関する患者の年間症例数	(例：がん化学療法を受けている患者 100例/年)
2-2) 「がん診療連携拠点病院加算」、「外来化学療法加算」の有無 上記いずれも無の場合のみ、がん化学療法看護に係る専門外来の有無及び年間外来受診者数を記載する。	(例：「がん診療連携拠点病院加算」：無、「外来化学療法加算」：無 外来(外来化学療法室等)の設置：有、化学療法外来受診者数 1000件/年)
2-3) 当該分野の認定看護師及び当該分野に関連する認定看護師・専門看護師の人数とその分野名称 ※上記該当者が無い場合のみ、受験申請者自身が当該分野の実務研修において主に指導を受けた人を記載する。	(例：がん化学療法看護認定看護師：無、がん性疼痛看護認定看護師：無、緩和ケア認定看護師：無、がん看護専門看護師：無 実務研修指導者：教育担当師長、外来化学療法室長、がん化学療法看護分野における経験5年以上を有する主任等)

2-3)※については、認定看護師等の有資格者から直接指導を受ける機会があることが望ましいが、ない場合には部署の師長か主任等で分野の経験の5年以上あるものから指導を受けたことを記されるか、あるいは施設外の認定看護師からの指導があった場合はそれを記す。

3. 実務研修の実績 概要

上記1-2)で記載した期間、がん化学療法を受けている患者の看護を担当した事例数(概算)：通算()例
担当した事例とは、継続的・中心的に患者に関わった事例とし、5例以上あることを確認する。

【教育機関チェック欄】

免許取得後、通算5年以上実務研修をしていること。

上記の実務研修期間のうち、がん化学療法を受けている患者の多い病棟での看護に関する実務研修を通算3年以上していること。

がん化学療法を受けている患者の看護（がん化学療法薬の投与管理の実績があることを必須とする）を5例以上担当していること。

現在、がん化学療法を受けている患者の多い病棟、外来、または在宅ケア領域で勤務していること。
が望ましい。

(認定看護師教育課程は、入学要件として、上記の実務研修に関する要件を満たしているか入学時に審査すること)